

2011年 日本生活教育連盟第63回夏季全国研究集会

主催 日本生活教育連盟 第63回日生連夏季全国研究愛知集会実行委員会
 後援 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会

研究主題 **子どもを再発見する「わたし」との出会い直し**
 ～原則は明確に、実践は多様に～

日時 **2011年8月6日(土)～8月8日(月)**

研究会場 **名古屋大学 東山キャンパス** 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
 TEL:052(789)5111(代表)

	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5日 (金)									拡大常任 委員会	分科会 世話人会					
6日 (土)		受付	生活教育講座	昼食	開会全体会	移動	分科会①	移動	分科会①	移動	会員総会				
7日 (日)		受付	分科会②	昼食	分科会③	移動	実技実践講座	移動	分科会③	移動	レセプション				
8日 (月)		受付	分科会③	移動	閉会 全体会										

・ごあいさつ・

名古屋の地で、新たな出会いと学び合いが広がりますよう

実行委員長・名古屋大学大学院教授 **植田健男**

日本生活教育連盟(日生連)は、1948年にコアカリキュラム連盟として発足し、民間教育研究サークルの草分け的な存在として今日に至っています。手弁当で、実践交流と研究を重ね、自由闊達な論議の中で教育実践と理論とを結合させ、生活教育のあり方を探究してきました。毎年、夏季全国研究集会を各地で重ね、今年で63回目を迎えます。

研究集会が愛知県で開催されるのは、通算して5回目となります。今回は、全国のみなさんにここ名古屋の地に集って頂き、ゆったりと、そして、ていねいに学び合い、つながりあえる場となるよう準備を進めておりますので、ぜひとも一人でも多くの方にご参加頂ければと思っております。みなさまのご参加を、心からお願い申し上げます。

いま、子どもたちが背負っている困難は、これまでとは違った新たな様相を呈してきています。そこに、重く厳しい現実があることは間違いありません。けれども、そうしたなかで、子どもたちを、生活と学びの主体として育て、生きる力を育む豊かな実践が、全国各地で繰り広げられています。愛知集会では、私たち大人もまた、つながり学ぶ場として、各地の実践を存分に交流し合いたいと思っています。また、多くのみなさんが是非とも聞いてみたいと思われるような講師の方々の講座も企画されています。どうぞ、ご期待下さい。

日頃の実践を交流し、悩みも語り合い、若い教師もベテランも、そして、保護者もあらためて教育への希望に確信がもてるような集会にしていきたいと思っています。名古屋でお会いできるのを、こころより楽しみにしています。

豊かな子育てと教育の実践を紹介し交流する月刊誌『生活教育』をおすすめします

(毎月20日発行 1年定期購読 郵送料込9600円)

日本生活教育連盟 世田谷区桜2-18-18 和光小内 (03)3420-4353 <http://nisseiren.jp>

開会全体会 8月6日(土) 13:00 ~ 15:30

- 13:00 開会のごあいさつ
- 13:10 現地基調実践報告「『のびる自分』を発見できる学級づくりを」
原田宏美(日生連愛知サークル)
- 13:40 記念講演「反貧困—人間らしい生活の再生を求めて」
宇都宮健児(反貧困ネットワーク代表・弁護士)
- 15:00 緊急報告「東日本大震災 被災地とつながろう」(予定)

生活教育講座 8月6日(土) 10:00 ~ 12:00

- ①「生活教育」とは 行田 稔彦(和光学園学園代表/日生連委員長)
- ②子どもと深める命の授業 金森 俊朗(北陸学院大学教授/日生連拡大常任委員)
- ③学ぶ意欲を育てる算数の模擬授業 渡辺恵津子(大東文化大学教授/日生連研究部員)
- ④困難を抱えた子をどう理解するか 竹沢 清(日本福祉大学非常勤講師)
- ⑤愛知の私学 高校生と語ろう 安城学園の高校生(依頼中)
- ⑥愛知の保育・幼児教育実践 竹川 雅子(瀬戸・はちまん幼稚園園長)

実技実践講座 8月7日(日) 15:45 ~ 17:30

- ①子どもと楽しむ手作り工作 山岡 賢次(春日井市小学校教員)
- ②コマ・剣玉 青山 秀継(中部福祉専門学校非常勤講師)
- ③教室で楽しむ手品 奥田 靖二(楽しい学級づくり研究会代表)
- ④絵手紙 牧野 花子(絵手紙講師)
- ⑤火起こし・石器づくり 佐藤 文朗(私塾「星の美しい村」村長)
- ⑥子どもと俳句をつくる 山下 政章(名古屋市小学校教員)
- ⑦スピーチ活動に取り組むために
~ワークショップで体験しよう~ 中妻 雅彦(愛知教育大学)

閉会全体会 8月8日(月) 11:30 ~ 12:30

- 講演「『自前の教育課程づくり』の意義と展望」
植田健男(名古屋大学大学院教授・第63回夏季全国研究会実行委員長)

分科会 8月6日(土) ~ 8日(月)

分科会	分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人(太字は代表)
1 ことばと教育	子どもが求める読み・書きの力 ①豊かな「ことばの体験」をつくる入門期・低学年の学習 ②子どもの学びを拓く「読み」「書き」の学習 ③表現から読みとる現代の子どもたちの世界 ④現代の子どもの生活や意識と切り結ぶ作品の紹介とその検討	本谷 宇一 金田一清子 鎌倉 博 河瀬 照代 桑原 英代 近藤 秀子 川崎 陽一
2 算数・数学	子どもと拓く算数・数学 ①学びを作り出す基礎基本の力とは何か ②子どもとともに算数・数学の学びを創る ③学びあいの中での認識の変化 ④生活と算数の結びつきと教育課程 ⑤学びを作り出す指導法と教具 ⑥確かな学びと少人数指導のあり方	関 忠和 行田 稔彦 増島 高敬 渡辺恵津子 長谷川京子 本郷佳代子 稲打 八郎 入沢 雅代 儀間 奏子 石川 義人

分科会		分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人(太字は代表)
3	社会科	子どもと共に社会を学び、希望を育む ①その実践で子どもが知りたいこと・学びたいこと ②討論・交流の場の設定と共通課題・個人課題の誕生 ③実践で生まれた学びと生きる喜び・希望 ④子どもの主体的な学びを支える教師の指導性	金森 俊朗 外山 英昭 松村 一成 加藤 博之 田所 恭介 杉見 朝香
4	自然と科学・ 技術・産業	新しい社会・地域・生活をつくる 「自然と科学・技術・産業」の教育 ①日常生活の中で萌生する《自然と科学・技術・産業》への関心の活用 ②理科・数学・技術科などトリタテた教科での《自然と科学・技術・産業》(国語科・社会科なども含む) ③新しく生まれつつある社会＝共生経済との関連(地域づくり)。 ④大学の教育や最先端の研究とのつながり(科学の系統性)。 ⑤科学的概念とあそび・生活の中でつけた力(発達構造との関連)。	田辺 基子 松本 達郎 伊東 裕子 中妻 雅彦
5	生活科と総合学習	学び合う「価値」と「喜び」を実感できる生活科と総合学習を拓く ①仲間や文化・科学とつながり、生き活きた学び合いを創る生活科・総合学習～「価値ある学び」を育む「ひと・もの・こと」との出会いを探る ②「いまを生きる」子どもたちの「智」を拓く生活科と総合学習～「いのち」「平和」「人権」「環境」「共生」を育む実感ある学びの探求 ③豊かで確かな人格形成をめざす生活科・総合学習の教育課程づくりの探求～「地域」「生活」に根ざした“学び合い”の創造と“ほんと”の道德性の探求	小川 修一 曾根 啓維 藤原 共子 金馬 国晴 野上ゆみ子 和田 仁 村越 含博
6	異文化・国際 理解教育	多文化・多言語の学び合いと国際交流を通じて 共生文化の主体に育つ ①アイヌ文化、琉球文化、世界の〇〇文化と出合う教育実践から教育課程づくりへの道筋を考える ②韓国・中国などアジアとの交流を通じて共生文化の主体はいかに育つのか ③「外国語活動」としての英語教育の実態と課題を確認する ④アメリカン、日系ブラジル人、在日外国人、帰国子女等の子どもの生活現実から学び合いを立ち上げる	田村 真広 高田 哲郎 大滝 修 長堂登志子 迫田 実 北川 茂
7	音楽の教育	生活に根ざしつながり合える楽しい音楽教育を目指して ①音楽教育をめぐる問題点と現状 ②楽しく気持ちよく歌える歌唱・合唱教材 ③あそびながら心を育てるうたあそび教材	繁下 敏子 宮武 孝太 三野 紀子
8	小学校の生活指導	親と子と教師が「安心・自信・自由」でつながれる 学級・学校 ①「不登校・登校拒否・いじめ・暴力」等に見られる子どもたちの疎外状況を克服する指導 ②「荒れる子」「キレる子」の内面と背景を大切にしたい生きる意欲を育てる集団づくり・文化活動 ③父母・地域の人々との共同による学級・学校づくり ④子どもと教師が本音を出し合い、遊び心でつながれる学級・学校づくり	伊藤 邦夫 宮城アケミ 阿部 賢

分科会		分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人(太字は代表)
9	乳幼児期における 保育・教育と小学校 入門期の教育	乳幼児期の発達を保障する保育・小学校入門期の教育は ①乳幼児期に豊かに体験させたい自然とのかかわりや人とのつながりで育つものは ②価値ある体験にもとづいた言葉や表現をはぐくむ(話し言葉、書き言葉、造形、身体表現など) ③子どもと親の生活実態、地域の状況、共に課題を克服する手だて ④小学校入学前の保育・教育と入学後の教育の関連・連携	中河原良子 青山 秀継 山田 隆幸 久保 咲子 廣野 梢 永田 都 片岡 隆之
10	中学・高校・ 大学教育	中高生の発達・学力課題は ①中・高・大の子どもたちを、思春期の育ちという観点で、その現状を交流しながら、その課題を学力面、生活面を基礎に明らかにしていく ②一人一人のつながり合い・支え合いを生み出すため、集団の現状と課題を明らかにしていく ③子ども自身の参加と自治による学校、学年、学級づくりを探っていこう ④教職員の協力、援助しあいをどう作り、職場の教育力をどう高めあうのか	浦島 清一 木村 勝保 宮崎 博史 水谷 徹 両角 憲二
11	障がい児教育	生活と学習の主体者を育てる障がい児教育 ①子どもをどうとらえるか(「問題行動」と子どもの内面理解) ②教育内容をどうつくるか(基礎的日常的な生活活動/科学や文化の学習/文化集団活動) ③「特別支援教育」の流れの中で、学級・学校・父母集団・地域をどうつくるか	竹沢 清 岸 康裕 内藤 良一 竹田 一博 加藤登美子 井関 美季
12	能力・発達と評価	子どもたちの学びをとらえるまなざし～多様な実践に見る教師のみとり～ ①学習指導要領等の諸制度の改革と発達と評価をめぐる新たな課題を共有する ②子どもの学びに迫り得たいくつかの実践報告をもとに教師の評価観・子どもの能力観を検討する ③生活教育実践史における教師による子どもの学びのとらえやみとりを改めて振り返る	横田 文夫 古沢 常雄 横山 尤子 前田 賢治 吉越 良平 大島 崇 藤本 和久
13	教育と子育て	つながり合って育つ～子ども、教師、保護者・学童指導員・地域の支え合い～ ①いじめ・不登校・荒れ・非行・発達障害など…「子どもたちのしんどさ」に寄り添い、支える取り組み ②友人関係・異性関係・親子関係、学校・家庭生活…「子どもたちの生きづらさ」のとらえ方と支援の在り方 ③保育園・幼稚園・学校・学童保育・家庭、地域などでの子どもの生活…子どもと生活と居場所づくりの実践 ④学校・家庭・地域がつながって支え合う…「教育的」、「心理的」、「福祉的」など様々な専門性で子どもたちを支え・育てるネットワークの実践	山岡 雅博 石橋 裕江 小川 裕子 春日井敏之 北村 和美 望月 彰 森 俊郎 森川 紘一

レポート参加について

- 分科会にレポート参加を予定されている方は、日生連研究部に、7月25日までにご連絡ください。

田村 FAX：042-496-3152 e-mail tamura@jcsw.ac.jp

- レポートを郵送される方は、「日生連大会資料」と明記され、下記までお送りください。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学教育学部 教育経営学研究室 植田健男研究室 気付
 TEL：052(789)5111(代表)

参加申込み要項

《費用》

- ①参加費**
- | | |
|---------------|--------|
| 教職員・元教職員 | 6,000円 |
| 一般(父母・学童指導員等) | 3,000円 |
| 学生 | 2,000円 |
- 記念講演料・会場使用料・大会冊子・『生活教育』見本誌・ご案内資料・運営諸経費の料金です。
 - 日本生活教育連盟2010年度登録会員は500円引きです。
 - 1日だけの参加の方は教職員3,000円(一般は1,500円・学生は1,000円)です。
 - 当日参加受付は可能ですが、会場準備の都合上事前申込みにご協力下さい。

- ②昼食代** 1食 700円
- 飲み物付きのお弁当です。
 - 8月6日・8月7日のみ購入できます。

- ③レセプション代**
- | | |
|----------|--------|
| 大人・中学生以上 | 4,000円 |
| 幼児・小学生 | 2,000円 |
- レセプションは夕食を兼ねた交流会です。
 - 楽しい出し物など多数繰り出すイベントですので、どうぞご参加下さい。アルコール類・ソフトドリンクなどの飲み物ができます。
 - 事前申込みをお願いします。

- ④子ども学校・保育室料** 実費(申込書参照)
- 事前申し込みを原則とします。(締切：7月10日)
 - 「子ども学校」は小学生のみ、保育室は3歳以上の幼児が対象です。
 - 費用の中には、おやつ代・活動費が含まれています。7日(日)のみお弁当がつきます。

- 活動内容によっては、入館料等の実費を追加徴収させていただきます。
- ⑤宿泊費**
- 宿泊は下記のホテルになります。
- 名古屋金山ワシントンホテルプラザ**
〒460-0022 名古屋市中区金山4の6の25
Tel. (052) 322-1111 Fax. (052) 332-5588
- ホテルから大会会場までは、地下鉄で20分ぐらいです。
 - JR、名鉄、地下鉄が乗り入れる金山総合駅北口より徒歩2分。
 - 名古屋高速東別院出口より車で5分。
- シングル料金 7,500円
ツイン料金 7,500円
※いずれも1泊朝食バイキング付き。
- 部屋割は実行委員会にご一任願います。同室ご希望の方がいらっしゃる場合は必ず「備考」にその旨書き入れて下さい。

《キャンセル》

- キャンセルにつきましては、一定のキャンセル料をいただくこととなります。キャンセルが必要になりました場合は、すぐに「鬼頭」または「原田」までご連絡下さい。
 - キャンセル料は、以下の通りです。
- | | | | |
|------------|------|-------------|-----|
| 20日目～8日目…… | 20% | 7日目～2日目…… | 30% |
| 前日…… | 40% | 当日(旅行開始前)…… | 50% |
| 旅行開始後…… | 100% | | |
- 参加費につきましてはお返しできません。後日大会資料をお送りいたします。

申込み方法

◆銀行振込

- 必ずこの申込書をファックスしてください。
- 振込先** 日生連愛知サークル 会計 原田宏美
十六銀行 岩倉支店 普通口座 1287376

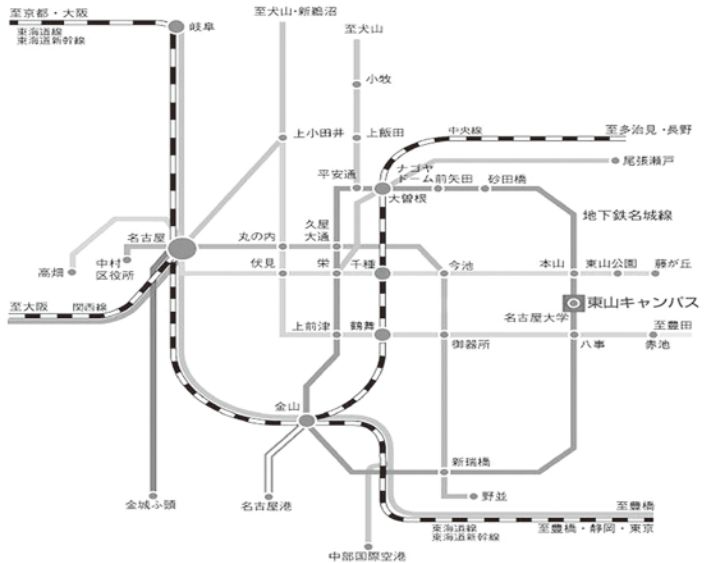
◆FAX・現金書留

- この申込書を同封してください
- 送付先** 0587-66-6894(原田宏美・自宅)
郵便番号 482-0006
岩倉市稲荷町羽根21-4(原田宏美・自宅)

会場案内

名古屋大学(東山キャンパス)

- 地下鉄名城線名古屋大学駅下車すぐ
- JR名古屋駅・名鉄新名古屋駅・近鉄名古屋駅からの場合
地下鉄東山線藤が丘行きに乗り、本山駅で地下鉄名城線右回りに乗り換え、名古屋大学駅下車。
- JR金山駅・名鉄金山駅からの場合
地下鉄名城線左回りに乗り、名古屋大学駅下車。
- 航空機・中部国際空港を利用の場合
空港から名鉄特急に乗車し、名古屋駅または金山駅で下車、その後地下鉄に乗り換え(上記参照)。又は、空港バスにて栄または名古屋駅に出て、地下鉄に乗り換え。



- 《問合せ》**
- 研究集会企画 日生連事務局長 和田 仁 042-736-0036(和光鶴川小)
 - 大会参加 現地事務局長 鬼頭 正和 052-453-4310(自宅)
 - 宿泊 原田宏美 0587-66-6894 鬼頭正和 052-453-4310

第63回日本生活教育連盟夏季全国研究愛知集会申込書

- 該当する欄に人数を記入して下さい。
- お仲間と同時に申し込む場合も、お名前は1人ずつ明記

送金金額

お名前	フリガナ() 男・女		※受付番号(現地実行委員会記入)			
	宿泊される方のご記入下さい()歳					
ご自宅	〒		電話			
			FAX			
			e-mail:			
勤務先	勤務先名		電話()			
分科会希望番号	生活教育講座希望番号		実技講座希望番号			
同伴家族・お仲間名	氏名	性	歳	氏名	性	歳
	氏名	性	歳	氏名	性	歳

日生連会費	登録更新・新規加入	4,000		2011年度(～2012年8月)分
『生活教育』購読料	年間購読料	9,600		送料込み2011年4月～12年3月
	新規購読	5,600		送料込み2011年9月～12年3月

参加費	教職員	6,000		退職者も含む
	一般(教員以外)	3,000		
	学生	2,000		
	(日生連会員)教職員	5,500		2010 日生連会員名簿掲載者
	(日生連会員)一般	2,500		2010 日生連会員名簿掲載者
	1日のみ参加(教職員)	3,000		
	1日のみ参加(一般)	1,500		
	1日のみ参加(学生)	1,000		

お弁当	6日(土)	700	人	飲み物つき
	7日(日)	700	人	飲み物つき

7日(日) レセプション	大人	4,000	人	中学生以上
	子ども	2,000	人	幼児・小学生

子ども学校 (小学生のみ)	6日(土) 13時～18時	1,500	人	活動費・おやつ
	7日(日) 9時～18時	3,000	人	活動費・おやつ・昼食
	8日(月) 9時～12時	1,000	人	活動費・おやつ
保育室 (3歳～就学前)	6日(土) 13時～18時	1,500	人	活動費・おやつ
	7日(土) 9時～18時	3,000	人	活動費・おやつ・昼食
	8日(日) 9時～12時	1,000	人	活動費・おやつ

利用幼児・児童名	(カタカナ) 男・女	既往症
	氏名 歳	
	(カタカナ) 男・女	既往症
	氏名 歳	

宿泊	シングル (朝食付き)	5日	7,500円	人	ツイン (朝食付き)	5日	7,500円	人		
		6日	7,500円	人		6日	7,500円	人		
		7日	7,500円	人		7日	7,500円	人		

〈備考〉ご連絡・ご要望事項がありましたらお書き下さい。